

1) システムの名称 :

STELLAR (ステラ)

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け :

5. 画像検査系、12. 診療録など管理系

3) 特色 :

【院内の診療データを1つのシステムで統合化/全診療データを一元的に管理する次世代システム】

STELLARは院内の各部門のデータを一元的に管理できる診療情報統合システムで、単なる部門と連携するポータルシステムではありません。STELLAR自身で各部門システムを構築ができ、各部門の特殊性を保ちつつ、同一の操作性で診療データを統合できます。これにより院内に散らばる各部門システムは不要になり、1システムで電子カルテ情報を含む診療情報の一元化が可能です。

■院内の全診療データを時系列で統合

STELLARは電子カルテも含む、全診療データを1つのデータベースで統合します。これらは患者単位に時系列で統合され、ドクターは1クリックで全診療データを1画面で参照することができます。

■ステラで各部門システムが構築できる

通常、画像システムだけでも院内には5つ以上のシステムが存在します。操作性や保存先もバラバラで1つの画像では参照が行えません。STELLARがあれば各部門をそれぞれ構築でき、操作性やそれぞれのデータ参照も1ビューアで実装可能です。

■月単位チャートでの表示も可能

月単位チャート表示では、時間軸での表示モードによる経過観測が可能です。選択モードにより表示したい項目に絞り込んでの表示もできます。

■統計による表示も可能

統計では件数推移表により、ラボ、投薬・注射、生理検査それぞれの年間件数を月単位で表示します。前年度比較と、分類構成比率をみるために2種類の帳票を用意しています。項目と年月のクロスで、件数を集計します。

■計測値結果も時系列に表示可能

検査で取得した計測値を表示することができます。心電図以外にも、SR、脂肪抽出などがあり、計測結果を時系列に表示することも可能です。

■患者プロフィール

自他施設の禁忌やアレルギー、患者のプロファイル情報、患者に関するコメントや連絡事項、保険情報、患者の入退院履歴まで表示します。

4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明 :

5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無 :

・ DICOM (Ver. 3.0) /Storage SCP・SUC、QR SCP・SCU

6) 動作環境 (ソフトの場合)、ハードスペック (ハードの場合) :

【サーバ構成】
オペレーティングシステム : Windows Server 2012
CPU : Intel Pentium プロセッサ以上 (Xeon プロセッサ以上を推奨)
メモリ : 16GB 以上
【クライアント構成】
オペレーティングシステム : Windows 7 以降
CPU : Intel Pentium プロセッサ以上 (Core i5 相当以上を推奨)
メモリ : 4GB 以上

7) 稼働までに必要な作業・期間 :

通常 3 カ月～

8) 価格 (桁数 (日本円における桁数)、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い) :

6 桁～7 桁

9) 保守の内容と費用 :

遠隔保守 : ルータ & 遠隔ソフトのセットアップ (電話回線工事費用は別途)
定期保守 : 月額 5 万円～ (障害発生時スポット対応、年 1 回定期点検等)

10) 問い合わせ先 (販売会社 担当者、URL、e-mail 等) および開発元 (もし別途あれば) :

問い合わせ先 : 株式会社アストロステージ ホームページ <http://www.astrostage.co.jp>
〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2-8-1 PMO 神田司町 5F TEL:03-5289-7740 FAX:03-5289-7742
Mail: info-as@astrostage.co.jp